

INFORMATION

No. 2307-21

受託中止のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、下記の項目につきまして、受託を中止させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご了承のほど宜しく
お願い申し上げます。

謹白

記

■受託中止項目

コード	受託中止項目名	中止理由
0209	HBs抗原《定性》	現行試薬の保険適用に合わせるため/ 代替項目:HBs抗原[コード;0843]
0210	HBs抗体《定性》	現行試薬の保険適用に合わせるため/ 代替項目:HBs抗体[コード;0844]

※現行試薬は、保険区分D013-3(88点)に区分されるため、[コード;0843] HBs抗原および
[コード;0844] HBs抗体への変更をお願い申し上げます。

(裏面に続く)

■最終受託日

2023年 8月 31日(木) 受付分まで

株式会社 武蔵臨床検査所

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8

TEL 04-2964-2621 FAX 04-2964-6659

URL <http://www.e-musashi.co.jp>

* お問い合わせは当社または担当者までお願いいたします。

B型肝炎ウイルス(HBV)について、感染スクリーニング検査やB型肝炎治療経過観察には、より検出感度の高い検査が求められています。

○B型肝炎治療ガイドラインでは、HBV感染スクリーニングは高感度の測定法を用いることが推奨されております。

○HBVワクチン効果確認にも、高感度の測定法によるHBs抗体測定をお奨めします。

○HBs抗原検査試薬の添付文書では各社共通して、【重要な基本的注意】として以下の記載があります。

【重要な基本的注意】

B型肝炎ウイルス(HBV)感染の診断は、ほかの免疫測定法などと同じく、本製品による陽性又は陰性の検査結果のみにより行わず、HBc抗体測定、HBV-DNA定量検査など、ほかの検査結果及び、臨床経過を考慮して総合的に判断してください。特に下記の場合は使用方法に留意してください。

1.健康診断時のスクリーニング検査

できるだけ検出感度の高いEIA法/化学発光法などを用いた検出試薬を使用し、イムノクロマト法や凝集法で検出感度の低い検出試薬の使用にあたっては、じゅうぶんに留意してください。

2.緊急検査

緊急対応として実施される迅速・簡便な検出試薬において、陰性と判定された場合でも、必要に応じてさらに検出感度の高い検出試薬で再検査をすることをお奨めします。

3.B型肝炎と診断された患者の経過観察検査

EIA法/化学発光法、凝集法、イムノクロマト法などいずれの方法を用いた検出試薬でも使用できますが、陰性化した場合はより検出感度の高い検査方法で確認することを推奨します。

注意)HBV感染直後はウイルス量が極めて少なく、どのような高感度の検出試薬を用いてもウイルスを確認できません。この時期は「ウインドウ(空白)期間」と呼ばれており、ウインドウ期間に採取された血液では、HBs抗原は必ず検出されるとは限りません。